



みなみの風

《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
重点目標 「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

朝晩は春を感じる気温ですが、日中は初夏を思わせる陽気が多くなってきました。令和8年度も無事スタートを切り、いろいろなことが毎日ありながらも、子どもたちは元気に登校する様子が伺えます。

私は着任してから3年目を迎えますが、登校時の朝のあいさつは、今までで一番気持ちよくできています。笑顔でハイタッチする子どもも多く、私もとてもうれしく思います。

さて、4月も今週で終わりとなり、もうすぐ大型連休に突入します。1年生も含め、新しい環境に慣れてきた今こそ、交通事故に遭わないためにも、ご家庭においても再確認くださいますようお願いいたします。

また、4月で身に付いた生活習慣が乱れる可能性もあります。楽しいひと時を過ごしていただきたいのはもちろんですが、ぜひ、連休明けの5月7日(木)には、しっかりと送り出してくださいませれば幸いです。

欠席等の連絡は確実に…

京都で起こった事案については、すでに詳細が報道されていますが、とても残念な結果となり、学校としても悲痛な思いでいっぱいです。

今回、すべての事実は分かりませんが、児童の所在確認が遅れたことは間違いなく課題であったと感じます。本校においては、マチコミメールを基本とし、場合によっては電話を使い、欠席や遅刻・早退の連絡を保護者から確実にしていただくように確認しているところです。ほぼ、問題なく行われているところですが、時折、連絡がないまま児童が不在のことがあり、とても心配することもあるのが実情です。

本校では、家庭環境調査書を活用し、速やかに保護者等へ連絡し、万が一連絡がつかない場合は職員室で共有しています。ただし、それでも児童の所在が不確定の時は、職員で搜索することとなります。私が赴任してからも、一定程度その対応を取ったことがありますが、これには心的不安をもち続け、搜索に時間を費やすこととなります。

改めて、子どもの命を最優先する学校として、保護者の方々からの欠席等の連絡の徹底を再度願います。

給食がおいしいよ！

今年の1年生は、プラス思考の6年生の優しさに包まれて、楽しそうに日々過ごしています。新たな発見の毎日で、きっと「生き生き わくわく」の気持ちで満たされているのだと思います。

様々な学校生活の中で、給食の時間を楽しみにしている子どもも多く、栄養士からも「1年生の残食が少ないです」という報告がありました。

次の写真は、過日、私が様子を見に行った時のものです。「牛乳を全部飲みました！」「〇〇を初めて食べたけれどおいしかった！」などの声も聞かれ、給食を楽しみにしていることがよくわかります。

もちろん、他学年も食欲旺盛な子どもが多く、とてもうれしく思います。「食べることは生きること」ですね。



「子育てアラカルト⑰～「ありがとう」を言える人に、言われる人に～」

本校では、ご承知のとおり、「3つの“あ”」の大切さを伝え、「ありがとう」「あとかたづけ」「あんぜん」を意識するよう指導しています。

思い起こせば、本校に着任した令和6年4月から少し経ったときに、子どもたちから「ありがとう」の言葉があまり聞かれないことが気になっていました。もちろん心ではそう思っていたのかもしれませんが、言葉に出すということは少なかったように思います。今では、保護者の方々の日頃からの教えや、学校での指導により日常化してきました。ただ、私としては、このすてきな日本の言葉をもっと大切にしてほしいと考えます。なぜなら、この言葉を言われて、嫌な気持ちになる人は一人もおらず、気持ちよくなるからです。

よりグローバルな多文化共生社会を生き抜く子どもたちではありますが、「ありがとう」の言葉はまちがいはなく不変でしょう。ぜひ学校中に、このすてきな言葉が今以上にひろがることを楽しみにしています。

加えて、人権の基本である「幸せでありたい」「自由でありたい」「生きていたい」の原則を踏まえ、「だれかのために生きる≡『ありがとう』を言われる人になる」なのかもしれません。まずは見本となる身近な大人が、その姿を示したいものです。

教職員研修を行いました【心肺蘇生法】【不審者対応】等

この4月に新たな教職員が加わり、研修をとおりて様々なことを再確認することは、4月ならではの風物詩です。次の写真は、左から「不審者対応」「教育相談」「心肺蘇生法」のそれぞれの研修の様子です。いずれの訓練や研修も、児童はもちろんのこと教職員自らの命を守り、よりよい人間関係づくりのためには欠かせないものであり、例年アップデートしています。

不審者対応訓練は、昨年度に他県で発生した事案を生かし、複数名の不審者が侵入してきたことを想定して実施しました。いつもお世話になっている駐在所の警察官等のご協力により、実効性のある訓練ができました。とはいえ、実際に刃物をもつなどの状況に遭った時、きっと訓練どおりにはならないこともあると思いますので、冷静な対応とチームでの対応の必要性を再認識することができました。

「心肺蘇生法」の訓練も、毎年行っています。水泳の授業時に心停止等のリスクが高まりますが、日常生活の中でも“突然”はありえます。不測の事態に備えて、AEDの使用方法も確実に習得できるよう努めています。我々教職員も常に学び続けています。



背中を見せる6年生 ～最上級生となった自覚～

本校の教室配置は、ペア学年を基本として配置されて4年目を迎えます。これにより、「異学年交流」が日常化され、同学年での活動が当たり前となっている「学校」という特殊な空間に一石投じています。

写真左は年度明けすぐに実施された6年生の学年集会です。6年生は、最上級生となったとはいえ、その経験は初めてであり、これまでの6年生の姿がスタンダードになります。すでに、各所で活躍を見せている6年生の今後に期待しています。

写真右は、朝のオープンスペースでの様子です。折り紙に興味をもっている1年生が6年生に教わっている場面です。朝から「すてきさん」を見つけることができ、私も幸せな気持ちになりました。



交通安全教室【1年】 ～かけがえのない命～

例年行っている1年生を対象とした交通安全教室が、今年も4月21日に実施されました。

過日、配布した「みなみの風」に示した学校グラウンドデザインに、今年度は「自他の命を守る登下校の徹底」を追記したところですが、まだまだ交通安全については一定程度の課題が残ります。「広がって歩く」「ポケットに手を入れながら歩く」「横断歩道を渡る時に手を挙げるのが十分ではない」など、継続して指導はしていますが、なかなか徹底が難しい状況にあります。

今回の学びの場では、外部から講師をお招きし、交通安全のみならず声掛けへの対応も含め、ご指導いただきました。1年生も、今やらなければならないことを学んだと思います。しかしながら、大事なことは続けることです。ご家庭においても、ぜひ命を守る大切さをお伝えくださいますようお願いいたします。



その言葉、大丈夫？ ～聞き逃してはならない！～

新年度が、無事スタートしたとはいえ、トラブルが全くないわけではありません。現在、トラブルの要因の一つに「言葉」が起因することが多いのが現状です。

端的に言えば、相手を傷つける言葉や恐怖を覚えさせるような言葉を簡単に使うことが散見されるということです。大人がそのような言葉を他人に使うと、「犯罪」です。学校内だから、友達だからということで許されるわけではありません。学校でも改めて指導しますので、今一度ご家庭においても必ず話題にしてください。

多目的ホールの外壁のまわりに植えられているツツジがきれいに色付いています(とはいえ、この通信が発行される頃には寂しくなっているかも)。子どもたちにとって、またそこで働く教職員にとって、環境は気持ちよく過ごすためのとても重要な要素です。

学校では、用務員さんのもとより、様々な面で環境を整えてくださるスクール・サポート・スタッフという方がいます。また、教頭先生の多岐にわたる業務を支援してくださる方もいます。学校は、学級担任の先生のみならず、多くの教職員によって支えられ、毎日を迎えることができます！

